

百武由紀  
&  
苅田雅治

# DUO CONCERT

## PROGRAM

チェルベット：ディヴェルティメント Op.4-1  
ピアソラ：「アヴェマリア」  
チャイコフスキー/プリムローズ：「ただ憧れを知る者のみが」  
グリエール：組曲  
カザルス：鳥の歌  
グラナドス：マドリガル  
ピストン：ヴィオラとチェロの為の二重奏  
シュル：二つのハシディック・ダンス

2022 10/21 FRI

18:30 開場 19:00 開演

代官山教会

全席自由  
一般 2,000 円  
学生 1,000 円





Profile

百武由紀 Viola

現代日本を代表するヴィオラ奏者。東京藝術大学大学院修了。井上武雄、浅妻文樹、ウィリアム・プリムローズ、セルジュ・コロの各氏に師事。1999年まで東京都交響楽団に在籍し、首席奏者を務めた。邦人作品、現代曲の初演も多数手掛けており、1999年、日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して審査員特別賞受賞。2005年に大谷康子、齋藤藤真知亜、荻田雅治の各氏とカルテット「クワトロ・ピアチェーリ」を結成。ショスタコーヴィッチ弦楽四重奏曲全曲演奏、近現代作品の斬新な紹介と演奏などが高い評価を得て、2011年、第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。同年、東京シンフォニエッタメンバーとして 第10回佐治敬三賞受賞。室内楽、ソロ、オーケストラと幅広く活躍し、「どのようなアンサンブルにあっても常に音楽を活性化できる類い稀なヴィオラ奏者」との評価を得る。現在、愛知県立芸術大学名誉教授、東京音楽大学客員教授、名古屋音楽大学客員教授。



荻田雅治 Cello

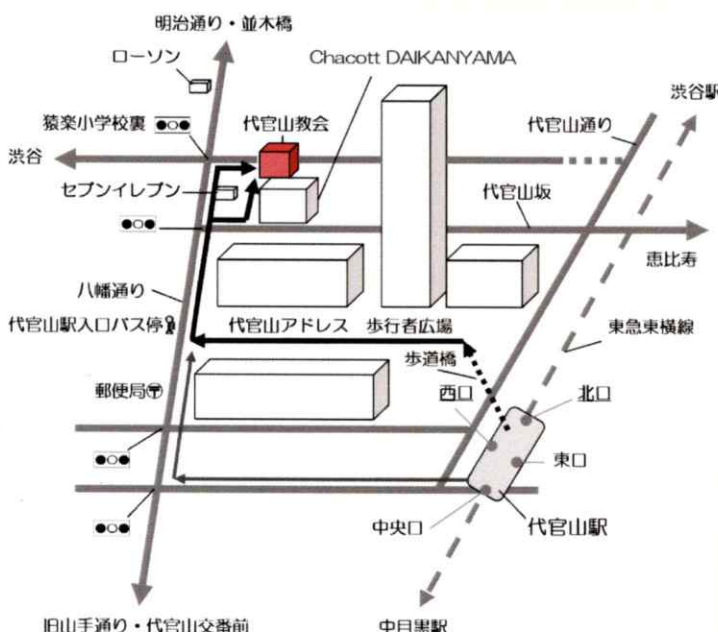
現代日本を代表するチェロ奏者。桐朋学園大学で井上頼豊に師事。1973年、第42回日本音楽コンクール・チェロ部門第一位。1982年から1990年まで東京都交響楽団の首席チェロ奏者を務めた。

1982年より小林健次率いるニューアーツ弦楽四重奏団に参加、飛騨古川音楽大賞奨励賞、文化庁芸術祭賞、中島健蔵音楽賞を受賞。「クワトロ・ピアチェーリ」におけるショスタコーヴィッチ弦楽四重奏曲全曲演奏などにより、2010年第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。個人としても現代音楽の優れた演奏が評価され、1992年第11回中島健蔵音楽賞受賞。作曲家の信頼は厚く、国内の主要な現代音楽祭に常時出演するほか、室内楽、放送などの分野で欠かすことのできない演奏家の一人である。独奏者としての評価も高く、演奏は円熟の域に達している。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学講師。

百武恵子 Piano



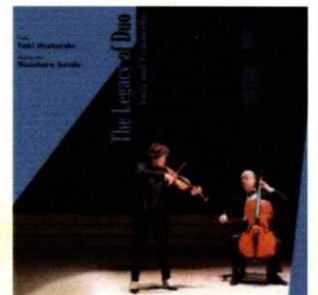
東京音楽大学、大学院を経て、パリ国立高等音楽院にて伴奏科、室内楽科を一等賞を得て修了。2007年文化庁海外派遣芸術家海外研修員。フランス国際コンクール室内楽部門第一位。在学中よりロンティボー国際コンクール、カザルス音楽祭、などに公式伴奏者として参加。弦楽器 クラス伴奏者を度々兼任し、パリ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団などのメンバーと共演。09年に帰国。10年文化庁国際交流基金の支援のもとアルジェリアにてリサイタルを行う。ピアノを 三浦捷子、川上昌裕、伴奏法と室内楽を J.ケルネル、山洞智、C.イバルディの各氏に師事。東京音楽大学非常勤講師（伴奏、室内楽）



CD リリース情報

The Legacy of Duo  
Viola and Violoncello

2022年8月17日 発売



代官山教会

東京都渋谷区代官山町 14-3

東急東横線「代官山駅」より徒歩約5分

東急バス渋71利用：代官山駅入口 下車 徒歩約3分